

FEI 総合馬術競技 2スター(2*) 2009 馬場馬術課目 B <small>参考時間:入場から最後の敬礼まで-約5分</small>	CCI**/CIC** B
---	----------------------

競技会名	日付	審判員名	審判員位置	
出番順	競技者名	所属	馬名	

		運動課目	着眼点	最高点	採点	観察所見
1.		A 尋常速歩で入場 I 停止、敬礼 尋常速歩で発進	整正、リズムと真直性 停止、移行、コンタクトと項の位置	10		
2.		CMR 右手前蹄跡に入る 尋常速歩 RK 斜め手前変換、中間速歩 (速歩または軽速歩)	整正、リズム、伸縮性、 回転時のバランスと 歩巾とフレームの伸展	10		
3.		KAF 収縮速歩	中間から収縮速歩への移行	10		
4.		FB 左肩を内へ	速歩の整正と質、収縮とバランス 諸関節の柔軟性、屈曲と角度	10		
5.		BX Xへ左へ直径10mの半輪乗り XE Eへ右へ直径10mの半輪乗り	速歩の整正と質、収縮とバランス 屈曲、流暢さ、半輪乗りの図形	10		
6.		EH 右肩を内へ HC 収縮速歩	速歩の整正と質、収縮とバランス 諸関節の柔軟性、屈曲と角度	10		
7.		CM 収縮速歩 MB 右腰を内へ	運歩の整正と弾力性 諸関節の柔軟性、屈曲と角度	10		
8.		BX Xへ右へ直径10mの半輪乗り XE Eへ左へ直径10mの半輪乗り	速歩の整正と質、収縮とバランス 屈曲、流暢さ、半輪乗りの図形	10		
9.		EK 左腰を内へ KA 収縮速歩	運歩の整正と弾力性 諸関節の柔軟性、屈曲と角度	10		
10.		AF 中間常歩 FE 斜め手前変換、伸長常歩 E 中間常歩	整正、活発さ、背の柔軟、 伸長常歩での歩巾の伸展 肩の自由さ、ハミへの伸展	10		
11.		A-F間とE-S間での中間常歩	運歩の整正、リズム、 アウトラインとハミ受け	10		
12.		S 右へ後軀を中心とした旋回 SE 中間常歩	諸関節の柔軟性、屈曲、整正、 後肢の活発さ、 中間常歩	10		
13.		E 常歩から直接左駈歩発進 EKA 収縮駈歩	明確な実施と流暢さ、 真直性	10		
14.		AC 収縮駈歩、 中央線の両側5mに 蛇乗り3彎曲、踏歩変換せず C 左手前蹄跡に入る	整正、リズム、 駈歩のバランスと質	10		
15.		CH 収縮駈歩 HV 中間駈歩	中間への移行 整正、リズム、歩巾の伸展 真直性	10		
16.		VKAFB 収縮駈歩	整正、 真直性と駈歩の質	10		
17.		BR 中間常歩	常歩への移行 常歩の整正、リズムとハミ受け	10		
18.		R 左へ後軀を中心とした旋回 RB 中間常歩	諸関節の柔軟性、屈曲、整正、 後肢の活発さ、 中間常歩	10		
計				180		

FEI 総合馬術競技 2スター(2*) 2009 馬場馬術課目 B <small>参考時間:入場から最後の敬礼まで-約5分</small>	CCI**/CIC** B
---	----------------------

出番順 競技者名 所属 馬名

				計	180		
		運動課目	着眼点	最高点	採点	観察所見	
19.	B BPFA	常歩から直接右駢歩発進 収縮駢歩	明確な実施と流暢さ、 真直性	10			
20.	AC C	収縮駢歩、 中央線の両側5mに 蛇乗り3彎曲、踏歩変換せず 右手前蹄跡に入る 収縮駢歩	整正、リズム、 駢歩のバランスと質	10			
21.	MP PF	中間駢歩 収縮駢歩	整正、リズムと歩巾の伸展 真直性 収縮への移行	10			
22.	F A AL	収縮速歩 中央線線上に入る 尋常速歩	速歩への移行 整正と中央線上の真直性	10			
23.	L	停止、不動、敬礼	敬礼時の停止と不動	10			
手綱を伸ばした常歩でAより退場							
				小計	230		
総合観察				最高点	採点	観察所見	
24.	ペース	自由自在に变じ、かつ整正であること		10			
25.	インバルジョン	馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軀のエンゲイジメント		10			
26.	従順性	注意力と従順、運動の軽快性及び無理のなさ、正しいハミ受けとコンタクト		10			
27.	騎手	騎手の姿勢と騎座、扶助の正しい使用とその効果		10			
				合計	270		

要求されている収縮の程度は、課目に規定されている運動を無理なく流暢に行なえるものであれば十分である。

減点すべきもの: 運動課目の誤りと運動を抜いた場合

1回目 = 2点減点.....

2回目 = 4点減点.....

3回目 = 失権

合計

--

注1:運動項目に「軽速歩」とない限りは尋常、中間・伸長速歩は「(座った)速歩」で実施されなければならない。

注2:**/****運動課目においては拍車は必須である。

注3:**/****運動課目においては水勒と同様に大勒も可。

審判員署名

FEI 2009年1月1日施行
 JEF 2009年4月1日施行